

令和3年8月6日

県、まん延防止重点措置を受けて

県南地区コミッショナー 二宮 知明

三指

日頃より、県南地区の活動にご理解、ご協力賜りありがとうございます。

昨日の県「まん延防止重点措置」を受け、私が所属する須賀川第1団においても8月末までの活動自粛となりました。

郡山地区におかれましては、その前に活動を自粛していたと思います。県南地区野営大会の参加自粛や団の周年事業をやむなく取りやめた団もございました。須賀川、矢吹の合同野営訓練も開催当時の今朝に中止となっております。

この新型コロナウイルスも変異型になり、新たなステージに入ったようです。ワクチン接種もまだまだ進んでいませんが、いずれかの時期には新しい生活習慣を伴った形ではあると思いますが、以前と変わらない活動が出来る時期が来ると信じております。

各団におかれましては、新型コロナウイルス感染予防対策が出来ていると思いますので、その指針に沿って活動の自粛及び活動の再開を決定するようにしてください。活動再開後も指針に沿って、万全の感染対策を施してスカウト活動を行っていただきたいと思います。

また、日連ではリモート会議が各団で出来るよう、無料でデジタルツールを提供しております。是非活用してみてください。(日連 HP 参照)

別紙には、私より、各団のスカウト、保護者及び指導者へのメッセージを添えさせていただきます。ご一読していただき、各々にお伝えしていただければ幸いです。

弥栄

令和3年8月6日

県南地区の皆様へ

県南地区コミッショナー 二宮 知明

三指

いつも県南地区協議会の事業に、ご理解、ご協力賜りありがとうございます。

昨日（令和3年8月5日）に福島県「非常事態宣言」が発出されました。これらを受けて、当地区全体において活動の自粛が余儀なくされていると思います。

夏の活動において、各指導者の方におかれましては準備も進んでいたと思います。スカウト達や保護者の方々におかれましても、夏の活動を待ち望んでいたことと思います。

この時期の活動は、スカウト達が大きく成長する大事な時期ですが、この状況を鑑み各団において判断がされたことと思いますので、理解していただきたく思います。

スカウト諸君へ

この時期で、長期野営訓練を控えていたので、当然、学校の夏休みの宿題は終わっていることと思いますが、万が一終わっていないスカウトがいたら、この期に宿題を終わらせましょう。

昨年の春にも学校への登校もスカウト活動もできない期間がありました。その時のことを思い出し、逆境を逆手にとり、この状況下だから、いつもより出来る活動・行動を心がけてください。スカウトはどんな時でも、「そなえよつねに」です。夏休みとこの自粛期間が重なったこのタイミングで、個々のスカウトスキルを磨いていきましょう。

ビーバースカウトは、お父さんやお母さん、家族の人たちのお手伝いを行ってください。ビーバースカウト保護者の方々におかれましては、家庭内学習がビーバーの基本になりますので、ビーバーノートの内容を確認して、不明確なところがある場合は、所属の隊長にお聴きになりながら進めてください。自粛期間が終わったときにはビーバーノートが木の葉章で一杯になっていることでしょう。

カブスカウトは、それぞれのカブブックにあることをしっかりと学んでください。そして保護者の方たちにお手伝いしてもらいながら、チャレンジ章に挑戦してください。全部のチャレンジ章を修得したカブスカウトを「スーパーカブ」と呼ぶそうです。多分、当地

区では「スーパーカブ」は誕生していないと思います。第1号を目指しましょう。カブスカウト保護者の方々におかれましては、カブブック等を読んでいただき、家庭内で出来る内容などについて、どんどんやらせてみてください。当然、家庭内のお手伝いもどんどん言いつけて、やらせて下さい。これも学びの一つです。

ボーイスカウトは、次の進級章を目指してスカウトハンドブックや各技能章の本等を参考にスキルトレーニングと並行して各項目のレポートをまとめて、自粛明けには隊長に提出しましょう。わからないところは、班長に聞いてみてください。班長がわからない場合は隊長に相談しても構いません。きっと丁寧に教えてくれると思います。

ベンチャースカウトは、今まで行った活動の報告書を整理し、隊長に提出してください。また、仲間と連絡を取り合い、リモート会議の環境下であれば、次の活動の計画を立ててください。自粛明けにはすぐに活動が再開できるよう準備期間にあててください。

その準備には、次の活動に必要な技能やスキルの修得も含まれます。

本当であれば、この夏休み期間中に、様々な活動体験を通して大きく成長する機会でありましたが、コロナ禍の中で出来ることを精一杯行っていきましょう。

各隊長や指導者のみなさんも本当は、悔しく思っています。みんなに楽しい体験をしてもらいたくて、色々な準備も行っていました。しかし、しっかりとした準備をすることは無駄ではありません。この次の機会にきっと役立ちます。スカウト諸君も今の時期に自宅で学習することや企画や報告書をまとめることは、決して無駄にはなりません。行うことの全てが君たちの経験になります。何も行わないで、YouTubeを見ただけで、出来るようになったと思っても、経験を伴わないそれは実践では何の役にも立ちません。

今年の夏休みを無駄なものにしないためにも、それぞれが出来ることを行って、自粛期間が明けた時に、隊長達に実践した記録や身に付けたスカウトスキルを披露してビックリさせましょう。「そなえよつねに」です。

指導者の方々へ

日頃から、スカウト運動に理解を示していただき、そしてスカウト達を育てていただき感謝申し上げます。

活動自粛であるから何もできない、しないではなく、スカウト達とコミュニケーション

を取る方法を模索してみてください。現在ではかなりメジャーになった、リモート会議などもその手段の一つです。また、お手紙や mail のやり取りもその一つです。保護者の方たちとともに連絡を密にとって、家庭内学習が進めれるように準備していただけたら幸いです。

また、このお盆休みの時期を利用して指導者各位におかれましては、自己研鑽に励んでいただきたいと思います。各々が足りないと感じているスキル（スカウトスキル以外にも、話し方や叱り方、安全やスカウト活動を補助するような資格など）を学ぶ機会にいただきたいと思います。当然、スカウトスキルを身に付けることも重要です。スカウトスキルはウッドバッジ研修所や実修所へ参加する際にも必要になってきますので、是非チャレンジしてみてください。BVS や CS の指導者も必要になります。

ウッドバッジ研修所が未修の方々もこれを機に、参加を検討し、所属の隊の隊長や団委員長に相談してみてください。スカウト運動の基本的な部分が理解できると思います。

自己研鑽はどの年代になっても必要だと思います。自身の成長もさることながら、何より自隊のスカウト達へより良いサービスを提供するために不可欠な事柄です。

指導者もスカウトです。「ちかい」と「おきて」の実践を心に留めて、より良きスカウティングを展開できるよう「そなえよつねに」でスカウト運動の良い推進者であるよう、これからのご活躍を期待しております。

弥栄